



Chocolat 通信

2014年 1月号

新しい年が始まりました。
本年もどうぞよろしく！！

K'mio talks

「計画的に暗譜を」

早いもので、五月の演奏会まで4ヶ月を残すのみ、になりました。「もう4ヶ月しか無い」という向きと、「まだ4ヶ月もある」という向きがあるでしょうが、私の今までの経験からいうと、どちらの考え方もリスクを背負いがちです。「もう・・・」と思うと焦りが先に来ちゃってそればかり気がかりで空回りする。焦って良かった事は人生振り返って一度も無かったはず。一方楽観的に「まだ・・・」と思う方が色々な面でいいのですが、これはともすると「準備不足」に陥ってしまいます。やはり計画を立てていつまでに何をどうする、ということキチンと管理するのが一番です。ですので、先ずは皆さんの中で暗譜目標というのを立てて下さい。しかし5月にやっそこさ暗譜、では困ります。何時も言いますが「暗譜したところがスタート」だからです。暗譜してから熟成されるまでの時間が大事ですので、差し引いて目標を立てましょう！

(Noboru Kamio)

断腸の思い

「ドビュッシー」

前回にフォーレはドビュッシーやラヴェルへの橋渡しといえる存在と書きました。フォーレの活躍した19世紀はベートーヴェンの古典派からロマン派へ移りブラームスやヴァーグナーに代表されるドイツ音楽が中心となっていきます。フランスでは普仏戦争の影響もあり、反ロマン、反ヴァグネリズムの旗印を掲げた民族主義的な運動がおきます。ここからがフランスらしく、北歐・南歐の懐古的な国民楽派でなく、美術界や文学界を風靡していた印象主義、象徴主義を導入します。その主唱者がドビュッシーであり、当時この学派は印象派と呼ばれます。印象派音楽は、その当時のあらゆる作曲家に影響し、ドビュッシーは近代音楽への扉を開くこととなります。最後にドビュッシーの名言を。
「芸術とは最も美しい嘘の事である」

(佐々木 晋)

10周年コンサートまで
あと 120日!



A 山田章子

2年前に母の死を看取りました。これから先の限りある私の時間に何をしようかしら。合唱は高校の混声合唱部で歌っていました。ここ10数年はその当時の仲間達15名ほどと月一回アカペラで歌っています。もっと歌いたいと思い、昨年5月にシヨコラに入れていただきました。正直「さだまさし」さんは苦手でした。我々の世代では、さださんは軟弱イメージで、さださんを聴いているなん言えなかったものです。実際は友達のお供でコンサートに行き、さださんのお喋りに笑い転がっていましたが、さださんの曲は避けて通りたかった。テンボも取りづらいし、高音羅列もいただけない、やだな、と密かに思っていました。ところが「防人の歌」を神尾先生が歌ってくださった瞬間、その思いは吹き飛びました。こんなドラマチックな歌い方があるのだ、男っぽい、完全に神尾先生の世界になりました。解釈でこれほど変わりえる音楽は、やはり奥が深い。5月の演奏会までに暗譜しなければならない曲がいったい何曲あるの。たーいへんです。



S 柴田晶子

私がシヨコラに入団したのは、震災の年の7月7日です。それまで所属していた混声合唱団を退団し、同じような規模で練習可能なグループをネットで探して出会いました。シヨコラは比較的新しい団であり、発展途上でまだまだ伸びしろのある合唱団だと感じました。私は小学校からクラブや部活動というと、合唱部か合奏部に入ってきました。本格的にコーラスを始めたのは高校時代です。それから通算30年、主に混声合唱団で歌ってきました。ハモルことが好きで、いろいろなタイプの合唱に興味があり、10人足らずのア・カペラグループでルネッサンス時代前後のグレゴリオ聖歌やポリフォニーを全員またはSOLIで歌ったりしています。さらに150人規模の大合唱団でオーケストラをバックに宗教曲などの大曲も歌っています。これからもより崇高なハーモニーを目指して時間の許す限りさまざまなタイプの合唱を続けていきたいと思っています。そんな中でシヨコラは私にとって唯一日本語の歌が歌える、疲れを吹き飛ばすことのできるスイーツです。



S 中野栄子

当初木曜日が空いていた為、子供二人が通園していた三栄町保育園の建物の3階へ見学に行きました。当時は童謡を歌っていたと思います。ママさんバレーにいくらか参加した後は日頃からあまり声を出していなかったことや、選択科目で合唱をやっていた思い出や、プラスバンドのドラムを無理矢理やらされていたりした事もあったので、初回から楽しかったのを覚えています。

毎回コンサートが近づく頃、何人かの方に来てくださいと声掛けをします。その度に、その方達が“今度いつやるの”と言って下さったら…と思いつつ、中々それ程の努力もしていない…の連続だったと思います。歌に対して真摯に向き合う時間を持ち、どうすればいいハーモニーの中に内容が伴い、聴く人にそれが伝わるようになるのかと思っています。近頃は各種調号における臨時記号# ♭ ♮ の効果範囲を今更ながら勉強しています



B 石田実

私の学生時代の合唱経験は、高校2・3年と大学1年時の約3年間。就職してから、全く合唱に触れることなく過ごしていましたが、たしか2008年に、会社で比較的時間が自由な仕事を担当した機に、合唱団をウェブ検索し、シヨコラを見つけました。20年以上のブランクで不安でしたが、歌ってみると楽しくて楽しくて・・・以来、シヨコラに（出られない時も多いのですが）居座っています。(笑)シヨコラの魅力は、神尾先生・田辺先生・美苗先生の楽しく温かみのあるご指導と、団員が皆真剣ながら、どことなく可笑しく、練習でもクスッという場面が随所にあることでしょうか??バスは、少数ながら、声も気立ても美しい献身的な面々(?)。歌っていて、とても快適です。5月のコンサートでは、皆さんを下支えできるよう頑張ります。将来的には、全体ハーモニーを進化させたいですね。私たちがレベルアップすることで、先生方からもっと色々なことを学べるのでは、と期待しています。

